

【取組内容④】 クラウドを活用した研修の充実とICTに特化した研修

授業研究のデジタル化

①学習指導案の作成において

授業者が作成した学習指導案を検討する際、共同編集可能なWordのコメント機能を活用した。各自が都合のよいタイミングで閲覧し、気付いた点をコメントとして書き込むことにした。これにより、放課後の検討会の時間が大幅に短縮された。また修正等の作業も容易になった。

②研究授業中のアウトプット

特別支援学級など、大勢で参観することが難しい場合はオンライン会議を活用して参観した。また、気付いたことなどをTeamsのチャットや投稿に書き込みながら参観することで、事後の研究協議では書き込んだコメントも見合いながら授業を振り返った。

③研究協議でのICT

以前は、付箋によるKJ法で研究協議を行っていたが、手間がかかることや他グループの情報に触れにくいことなどの課題があった。そこで、共同編集可能なアプリ（PowerPoint等）を活用し、成果や課題を記入していく方法を取った。様々な意見に触れることができたり、データとして共有できたりするだけでなく、他校の職員も参加しやすくなるというメリットがあった。



職員向けのICT研修の実施

放課後にICT研修を実施した。事前にFormsやTeams上でアンケートを取って研修したい内容を把握した。デジタルホワイトボードソフト、学習支援ソフト等の操作方法について研修を実施した。その他にも必要に応じて職員室で随時個別研修を行ったり、職員用のTeamsに情報提供を行ったりした。

